

瀬戸内海に似ている珍島の海



図1

韓国と西日本における白亜紀の地層
Wakita et al. (2004) を改変

中生代の地層は朝鮮半島では北東-南西方向、西日本ではほぼ東西と異なっていますが、1,500万年前の日本海形成前に戻すと(図3)同じ北東-南西方向になり連続します。

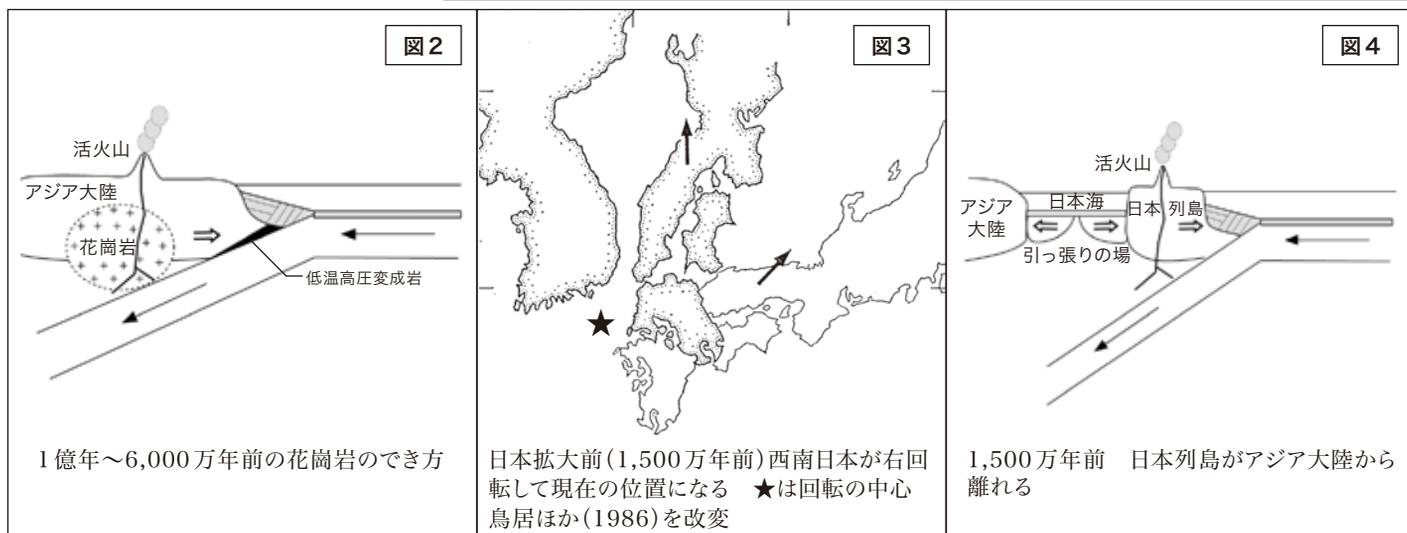


図2

図3

図4

1億年～6,000万年前の花崗岩のでき方

日本拡大前(1,500万年前)西南日本が右回転して現在の位置になる ★は回転の中心
鳥居ほか(1986)を改変

1,500万年前 日本列島がアジア大陸から離れる

韓国の珍島沖で客船が4月16日の早朝、霧の中座礁し、沈没しました。この客船には修学旅行生を含む約470名が乗船しており、懸命の救助が続けられています(4月24日時点)。

事故が起こった珍島を含む朝鮮半島の南端部は地形や地質は瀬戸内海と非常に似ており、同じ中生代の花崗岩が広く分布しています(図1)。花崗岩は風化に弱く、凸凹の地形が生まれ、分解して厚い砂層を作ります。花崗岩地域の凹部には海が侵入し、凸部は島として残り、海底は砂層の浅瀬になり、海の難所です。

中生代から現在に至る韓国南端部と西南日本の形成には2つの大きな出来事がありました。

① 1億年-6,000万年前 アジア大陸の東端部では海洋プレートがアジア大陸の下に沈み込んでいました(図2)。温度が低い海溝では低温高圧変成岩が作られ、温度が高い大陸側では花崗岩が生まれました。瀬戸内海と珍島の花崗岩もこの時同じ構造帯で生まれました。

② 1,500万年前 日本列島の火山活動が激しくなり、日本列島が回転しながら(図3)大陸から離れ、島になり(図4)、瀬戸内海と珍島は現在の場所になりました。

瀬戸内海でも霧の中で奇しくも修学旅行生が犠牲となった海難事故が、1955年(昭和30年)の5月の霧の深い早朝に起きています。香川県高松沖で高松と岡山県の宇野港を結ぶ宇高連絡船「紫雲丸」が列車貨物船と衝突し、乗船していた広島県の小学生の修学旅行生を含む168名が亡くなりました。私は高松で育ちましたがその事故以降、しばらくの間小学生の修学旅行は四国内になり、夏は海で溺れないよう遠泳の練習ばかりしていました。珍島沖の事故で一人でも多くの方が助かってほしいと祈っています。(合地信生)

発行 知床博物館協力会 2014.4.26
099-4113 北海道斜里郡斜里町本町49
斜里町立知床博物館内
TEL: 0152-23-1256 FAX: 0152-23-1257
NEW! <http://shiretoko-ms.sakura.ne.jp/>